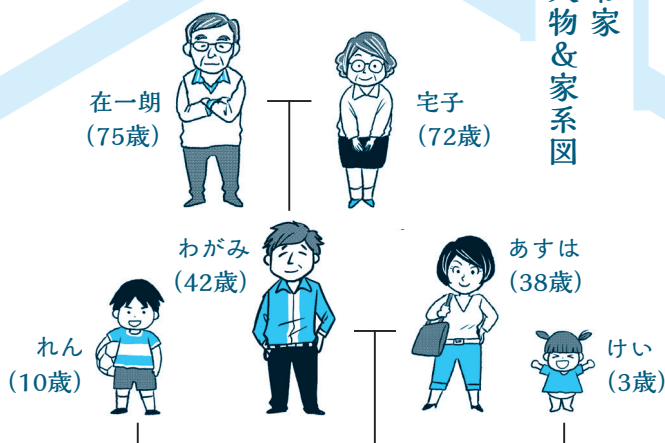


かしわ家 在宅医療ものがたり

市では、在宅医療・介護を含む、地域包括ケアシステムを早くからつくりあげ、全国から注目されています。このコーナーでは、市内に暮らす「かしわ家」を例に、誰にでも起こりうる問題と役立つ市の取り組みを、全9回にわたって楽しく分かりやすく紹介します。

図 地域医療推進課 ☎7197-1510

かしわ家
登場人物 & 家系図

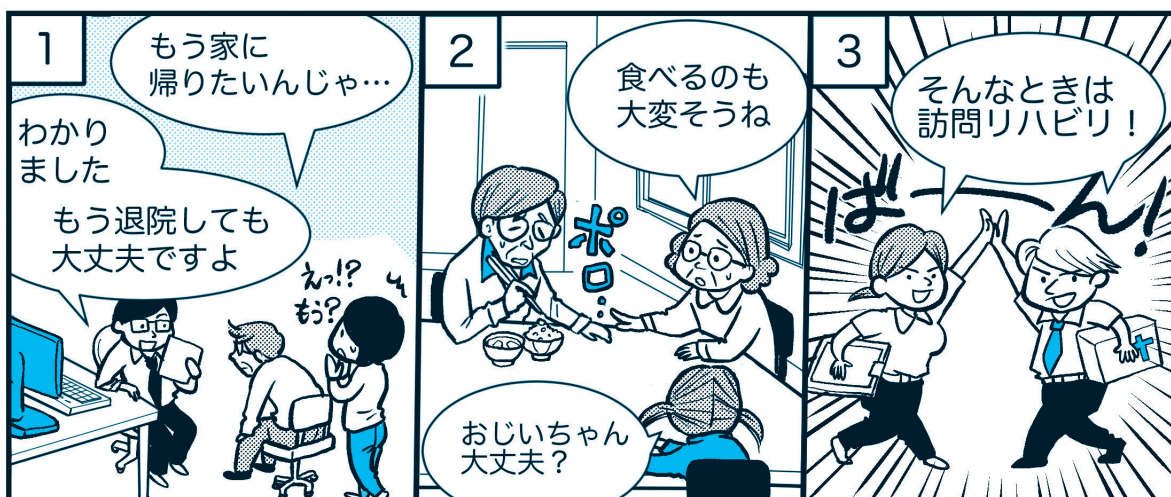


第1話～訪問リハビリ編～

えっ!もう退院!?

～がんになったおじいちゃんが帰ってきた～

今回は、食道がんで手術を受けた在一郎おじいちゃんが主人公です。退院から3週間後、経過は良好ですが…



退院後は訪問リハビリでサポートします!

自宅でも病院と同じように、患者さんの筋力や関節の動き、歩行能力等を評価して、その人に合ったリハビリメニューを作成し指導します。また、術後早期の退院では、呼吸が浅く痰も出しにくいので、肺炎予防のための呼吸リハビリが大切となります。



退院後も安心してリハビリが継続できるように、退院前のリハビリ状況を会議や書類により情報を共有しています。

訪問リハビリについて詳しく知りたいかたは、「柏市在宅リハビリテーション連絡会」のホームページを確認を

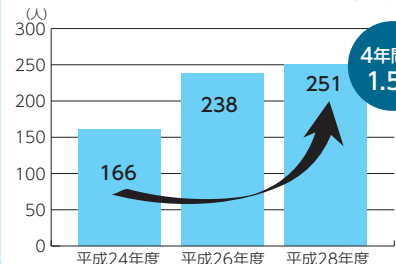


▲同連絡会のホームページはこちら

すごいね 柏

柏市は、超高齢社会に向けた健康や介護などに取り組む総合特区として、国から指定されています。そして、特例措置によって、病院等でなくとも訪問リハビリ事業所を設置することが認められています。この特区訪問リハビリ事業所は、現在市内に4カ所開設されていて、訪問リハビリの利用者数もぐっと増えました。また、病気のかただけでなく、市が推進しているフレイル予防にも関わり、市民の健康増進も後押ししています。

訪問リハビリ実施人数の推移 (月平均)



グッジョブ!

柏の在宅医療を支える「リハビリ職」のかたにインタビュー

高齢化や在院日数短縮から、体力や筋力の回復が不十分なまま退院するかたが多くなっています。そのようなかたが、退院後も安定した生活を実現できるよう支える仕事が「リハビリ職」です。



国立がん研究センター東病院
理学療法士・上野 順也さん

がん治療の退院後は体を動かすことがとても大切。自宅でも継続して専門職とリハビリを行うことは、治療効果を高めることも期待されています。

退院後は、訪問リハビリを利用することが可能です。柏市では訪問リハビリ事業所が多いので継続したリハビリが安心して受けられます。



訪問看護ステーションけやきの木
理学療法士・鈴木 清仁さん



次回は…「家にお医者さんが来てくれるの?」